

資源株ファンド 通貨選択シリーズ

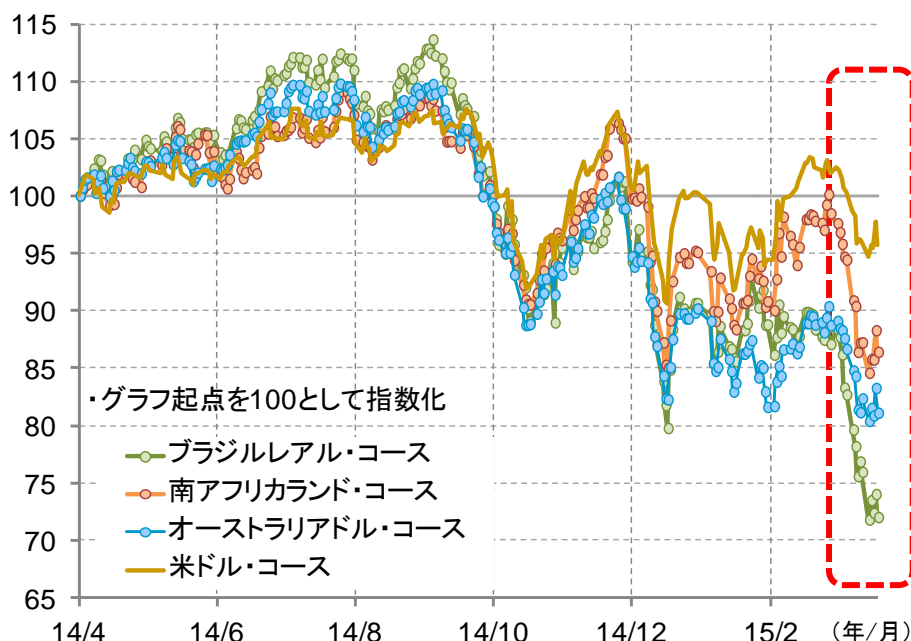
<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>
(毎月分配型)

足元の投資環境と今後の見通しについて

- 3月に入り、国際商品市場で原油価格が大きく下落したことなどから、世界の資源関連株式も軟調な展開となりました。そのため、当ファンドの基準価額もその影響を受けて下落し、足元でも変動の大きい展開が続いています。
- 特に、「ブラジルリアル・コース」においては、ブラジル景気の先行き不透明感に加え、政治面での懸念も強まったことなどが下げ圧力となって、同国通貨ブラジルリアルが大きく下落したことから、基準価額の下落幅は大きくなりました。
- 本レポートでは、当ファンドを取り巻く足元の投資環境と今後の見通しについて、ご説明いたします。

3月に入り、下落に転じた基準価額

<各コースの基準価額(税引前分配金再投資ベース)の推移>
(2014年4月1日～2015年3月20日)



<各コースの月間騰落率>
* 税引前分配金再投資ベース

コース名	月間騰落率	
	2月	3月 (20日まで)
ブラジルリアル	▲1.9%	▲17.3%
南アフリカランド	8.4%	▲12.3%
オーストラリアドル	8.7%	▲8.6%
米ドル	8.1%	▲6.2%

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の投資環境

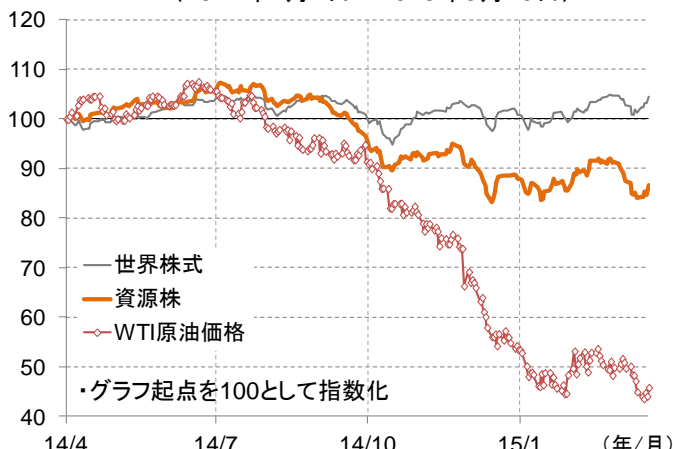
資源株は、市場全体を上回る場面も見られたものの3月に下落

- 資源株動向** ■ 商品市場では年初以降、米国景気の底堅さや米国のリグ掘削数の大幅減少などが好感され、原油価格に反発が見られました。しかし3月に入ると、米国で、エネルギー当局が2015年の原油生産見通しを引き上げたことや、シェールオイルの増産に歯止めがかからず原油在庫の増加が続いていること、国際エネルギー機関が、原油の供給過剰の解消には時間がかかるとの見通しを示したことなどから、原油価格は大きく下落しました。
- また、米国では早期利上げ観測が強まるなか、米ドルが主要通貨に対して全面高となったことに伴い、米ドル建て取引が多い原油は、米ドル高が嫌気されたことも価格の押し下げ要因となりました。こうしたなか、米国原油の国際指標WTI(ウェスト・テキサス・インターミディエート)は、3月中旬に一時、およそ6年ぶりの水準となる1バレル=43米ドル台まで下落しました。
- 資源株は、2015年2月にかけて、原油価格の持ち直しや投資環境の改善などを背景に市場に安心感が拡がり、景気回復期待や株価の出遅れ感などから反発し、株式市場全体を上回る場面も見られました。しかしながら、原油価格が大きく下落した3月には、エネルギー企業への収益悪化懸念などが嫌気され、下落基調となりました。

- 為替動向** ■ 外国為替市場では、2014年10月末の米国での量的金融緩和の終了決定、ならびに日本での大規模な追加金融緩和の実施以降は、米ドルが総じて大きく買われた一方、資源国通貨は、変動にバラつきが見られながらも軟調な展開が続きました。
- なかでも、経済の停滞懸念が強まるブラジルでは、年初にスタートした第二次ルセフ政権に対する政策不信などから、通貨リアルがやや軟調な展開となりました。特に3月に入ると、国営石油会社に対する汚職疑惑をきっかけに、それまでの景気低迷やインフレなど経済面での不満などが噴出して大規模な反政府デモへとつながり、ブラジルリアルは大きく下落しました。

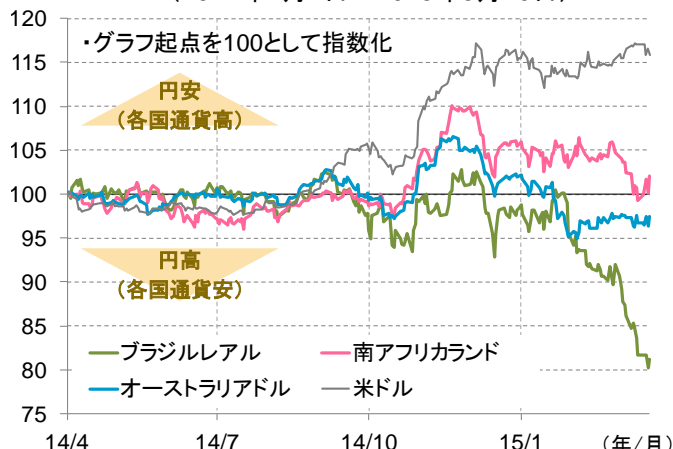
原油価格の急落を受け、
資源株は足元で連れ安となる傾向に

<資源株と商品価格の推移(米ドルベース)>
(2014年4月1日～2015年3月20日)



米ドル高が進む一方、
足元でブラジルリアルの下落が顕著に

<資源国通貨(対円)の推移>
(2014年4月1日～2015年3月20日)



世界株式:MSCI ACワールド指数、資源株:S&Pグローバル・ナチュラル・リソースズ指数、WTI原油価格:NY WTI原油先物
※上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

資源株の見通し

年後半以降、原油需給の改善による資源株への後押しを期待

- 足元で、原油在庫の積み上がりが懸念材料となっていますが、注目すべきは、2015年一年間で見込まれていた原油生産の減少量が、第1四半期だけで達成されようとしている点です。すでに、原油・ガスの採掘・生産会社の多くが、今年の設備投資の削減計画や新規プロジェクトの見直しを発表しており、こうした状況を受け、4-6月期には米国の原油生産が減少に転じる見通しが高まっています。
- 一方、需要面では、各エネルギー機関の見通しでも、2015年も引き続き世界の原油需要は増加が見込まれています。特に、米国で堅調な景気拡大が見込まれるほか、日本や欧州では、原油価格の低下や景気刺激策を背景に、成長見通しが上方修正されており、これらの先進国でのエネルギー消費が高まると期待されます。新興国では、消費のけん引役である中国が、戦略備蓄向けの原油輸入を増やしており、インドでも初めて戦略備蓄向けの原油輸入が行なわれる見通しであることから、こうした材料が、需要面で原油市場のサポート要因になるとみられます。
- その他の商品については、鉄鉱石や銅は、どちらも供給過剰による価格下落圧力に晒されており、鉄鉱石は需要の伸びが力強さに欠けるものの、銅は、引き続き力強い需要に対して、供給量は生産調整により限定的となる見通しであり、これが価格の支援材料になると見込まれます。鉱業セクターで重要な点は、当ファンドが保有しているのは鉄鉱石や銅の「生産会社の株式」であり、資源そのものではないということです。特に、当ファンドが保有する企業の多くは優良銘柄であることから、生産会社として、設備投資計画の見通しやコスト管理の徹底によって、収益性の維持が可能であると考えています。
- こうした環境下、当ファンドの運用においては、当面、世界経済の動向や資源の需給動向、地政学的リスクなどが価格の変動要因になると考えられるものの、株価が下落した今は、投資チャンスが広がっていると考えています。また、長期的な資源の消費トレンドには楽観的な見解を持っていることから、資源関連株式については、長期的なリターンを生み出す余地が依然として大きいと考えています。

投資削減を積極化させる石油メジャー

＜主要エネルギー企業の主な投資削減計画＞
(2015年発表分のみ、2015年3月20日現在)

シェブロン(米)	・150億米ドル相当の資産売却 ・向こう2年間の新規投資を削減
エクソンモービル(米)	2015年の設備投資を前年比11.6%(約45億米ドル)削減
BP(英)	2015年の設備投資計画を40-60億米ドル程度削減
ロイヤル・ダッチ／シェル(英蘭)	潜在的な設備投資を3年間で150億米ドル相当削減
トタル(仏)	2015年の設備投資額を10%削減する方針

各種報道などをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は、2015年に発表された主な内容であり、すべての情報を網羅するものではありません。また、個別銘柄に言及していますが、当該銘柄の売買等を推奨するものではありません。

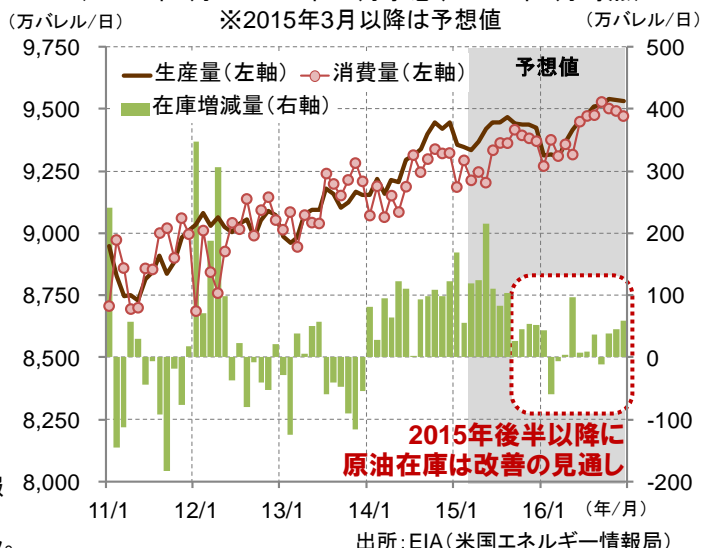
※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアル・コース＞＜南アフリカランド・コース＞＜オーストラリアドル・コース＞＜米ドル・コース＞(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

需給改善が期待される原油市場

＜世界の原油需給見通し＞

(2011年1月～2016年12月予想、2015年3月時点)



通貨の見通し

今後の各コースの通貨の見通し

以下では、足元で下落が顕著となったブラジルレアルを中心に、通貨の見通しをご説明いたします。



ブラジルレアル

問題解決への取り組みに伴う短期的な懸念はあるが、金利水準の高さが通貨のサポート要因に

- ブラジルでは、年初に2期目をスタートさせたルセフ政権が、財政規律の維持に向けて緊縮財政へと舵を切っており、財政収支を2016年初めまでに黒字化する計画の下、足元ではすでに予想以上の改善が見られています。しかし、こうした緊縮財政計画や政府高官による収賄事件が発覚した影響などもあり、同政権に対する不満が高まっています。また、同国では現在、干害に見舞われており、雨季の終了が近づくにつれ、農業用水や飲料水の不足だけでなく、水力発電に依存することから、計画停電が近い将来行なわれる可能性もあります。
- 足元の緊縮財政は、短期的には同国経済に痛みをもたらすとみられ、足元で同国の格下げも懸念されますが、政府は、政策運営の透明性と変化への実行を重視しており、こうした方針への理解が進むなかで、懸念は解消に向かうとみられます。また、長期的な問題解決のための大幅な政策変更を進めることで、今後も国民による抗議活動は増えていく可能性はあるものの、政府は変化を公約としていることから、現在の政策を推し進めるとみられ、すでに経常収支や予算面で改善が見られ始めています。
- 景気や財政健全化の行方などへの注意は必要ですが、同国は昨年10月以降、インフレ抑制のため利上げを続けており、足元の12.75%という政策金利水準は、ブラジルレアルのサポート要因になると考えられます。また同国は、依然として海外直接投資の流入額が大きいことや、2016年の夏季オリンピック開催国であることに加えて、多くの重要な天然資源を有することなどが、中長期的に同国経済の下支えになると考えます。



南アフリカランド



オーストラリアドル



米ドル

強弱交錯ながら、先行きに明るさ

- 同国の景気指標には強弱感が交錯していますが、製造業が四半期ぶりにプラス成長となったほか、鉱業で、プラチナ鉱山のストを受けた生産低迷からの回復がみられる点は、好材料と考えられます。
- 2014年10-12月期GDP成長率が、予想を上回る+4.1%（前期比年率）と、3四半期連続の改善となり、景気の回復基調とみられています。
- 通貨ランドは、インフレ率の上昇や米国の利上げ実施がリスク要因となる可能性があります。欧州の量的緩和によって、金利差の観点から選好されやすいことや、原油安による世界経済の押し上げの恩恵を受けるとみられます。

当面は小幅の値動きとなる見通し

- オーストラリアは、2月に政策金利を2.5%から2.25%へ引き下げました。これは、内需の弱さと経済成長の鈍化、予想を下回るインフレ率などを背景とした予防的な対応とみられます。
- 商品価格の下落は、個人消費を促す大きなサポート材料となる一方、交易条件の低下によって、収入の伸び抑制につながることから、当面は、生産の伸びは低水準にとどまるとみられます。
- オーストラリアドルは、足元で、金融政策面からも商品価格面からも強い支援材料が見当たらないことから、短期的には小幅な動きにとどまるとみられます。

今後も強含みが期待される

- 利上げ観測に揺れる米ドルは、上昇傾向が続いており、今後も、米国と日欧との金融政策の方向性の違いにより、米ドル高基調が続くと考えられます。
- 米経済の成長は続いているものの、若干の弱含みも伺えます。これは、米ドルの上昇によって、企業収益予想が下方修正され始めたことが影響していると考えられます。
- FRB（連邦準備制度理事会）は声明で、足元のインフレが緩やかであることを強調したものの、6月の利上げの可能性には含みを残していることから、米ドルが強含む状況は続くと考えられます。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

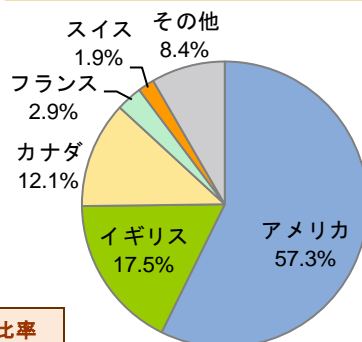
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2015年2月末現在)

業種比率

業種	比率
エネルギー	49.6%
素材	45.2%
農業・食料	3.2%

国別株式組入比率



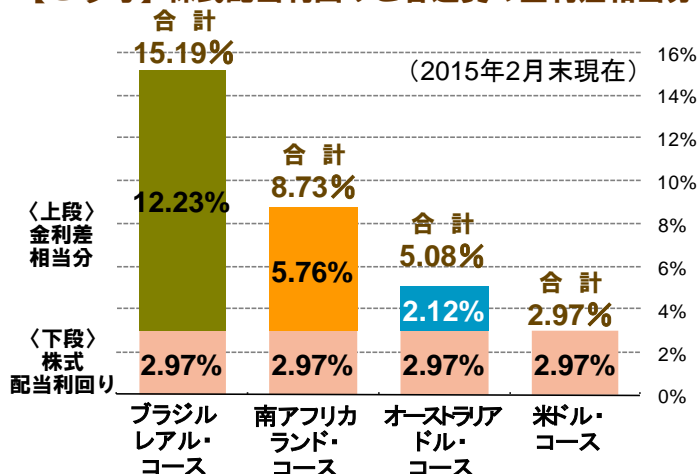
株式組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHP Billiton PLC BHPビルトン	イギリス	素材	5.47%
2	Rio Tinto PLC リオ・ティント	イギリス	素材	3.99%
3	Monsanto Co モンサント	アメリカ	素材	3.88%
4	Potash Corp of Saskatchewan Inc ポタシュ・コーポレーション・オブ・サスカチワン	カナダ	素材	3.85%
5	Exxon Mobil Corp エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.71%
6	Chevron Corp シェブロン	アメリカ	エネルギー	3.69%
7	Archer-Daniels-Midland Co アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	アメリカ	農業・食料	3.23%
8	International Paper Co インターナショナル・ペーパー	アメリカ	素材	3.10%
9	Mosaic Co/The モザイク	アメリカ	素材	2.99%
10	Total SA トタル	フランス	エネルギー	2.93%

【銘柄数: 73銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分: ブラジルリアル短期金利 (CD (譲渡性預金証書) レート1ヵ月)、南アフリカランド短期金利 (ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月)、オーストラリアドル短期金利 (1ヵ月物銀行手形金利) から、それぞれ米ドル金利 (1ヵ月LIBOR) を差し引いて算出。
株式配当利回り: 「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それをを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに
日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

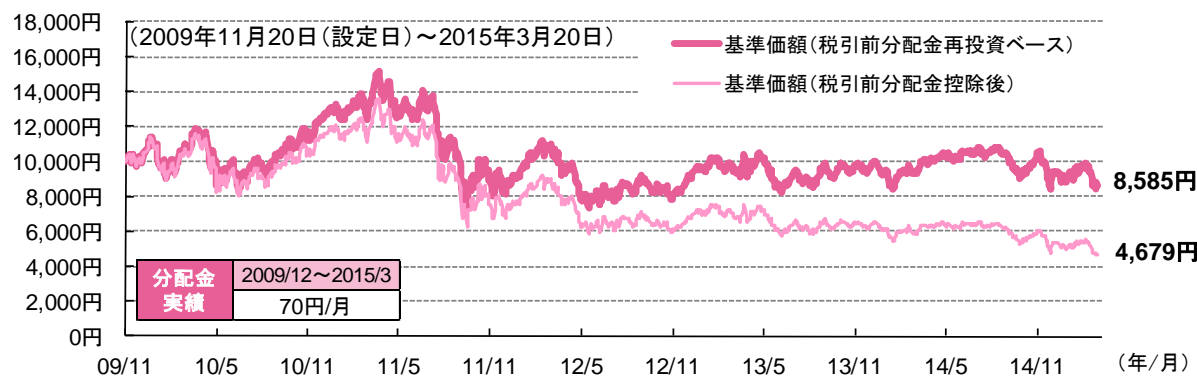
■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

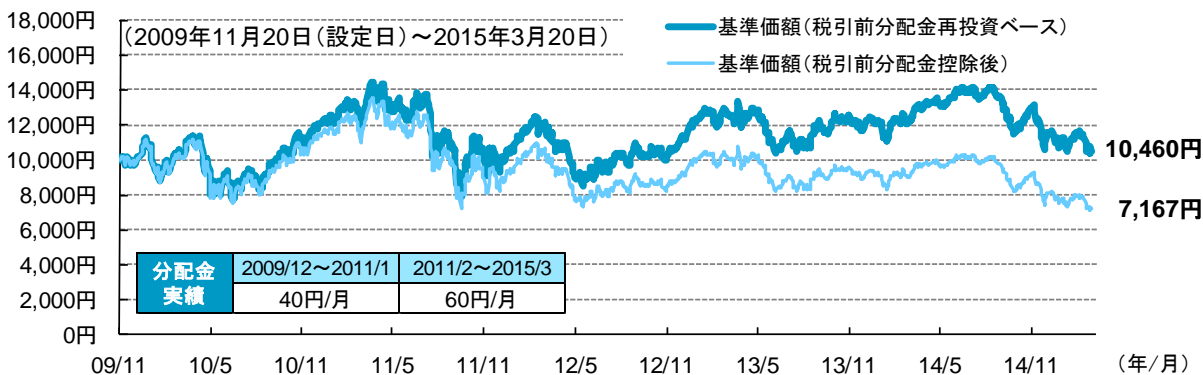
ブラジル リアル・ コース



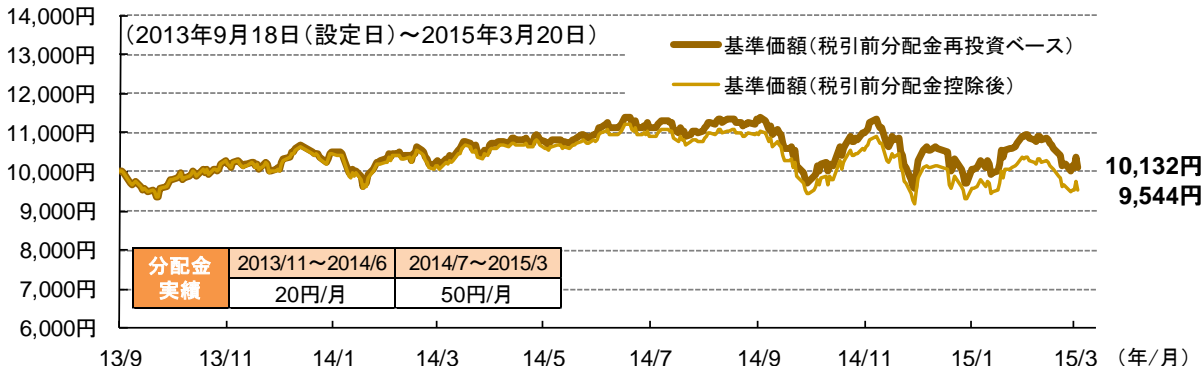
南アフリカ ランド・ コース



オーストラリア ドル・ コース



米ドル・ コース



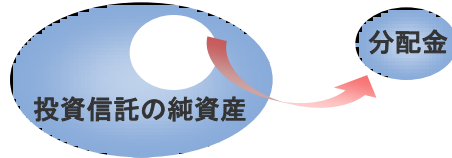
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

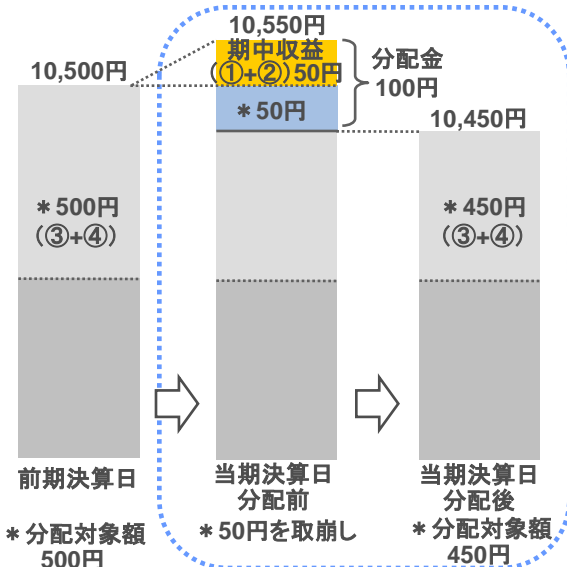
投資信託で分配金が支払われるイメージ



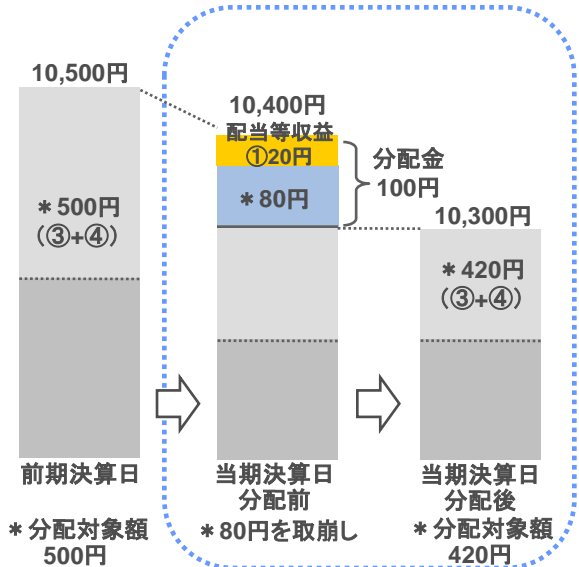
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

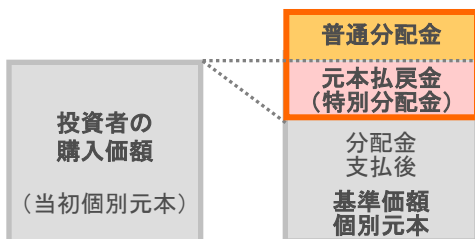


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

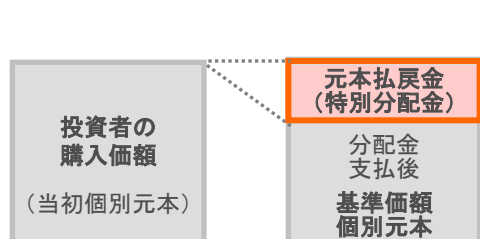
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

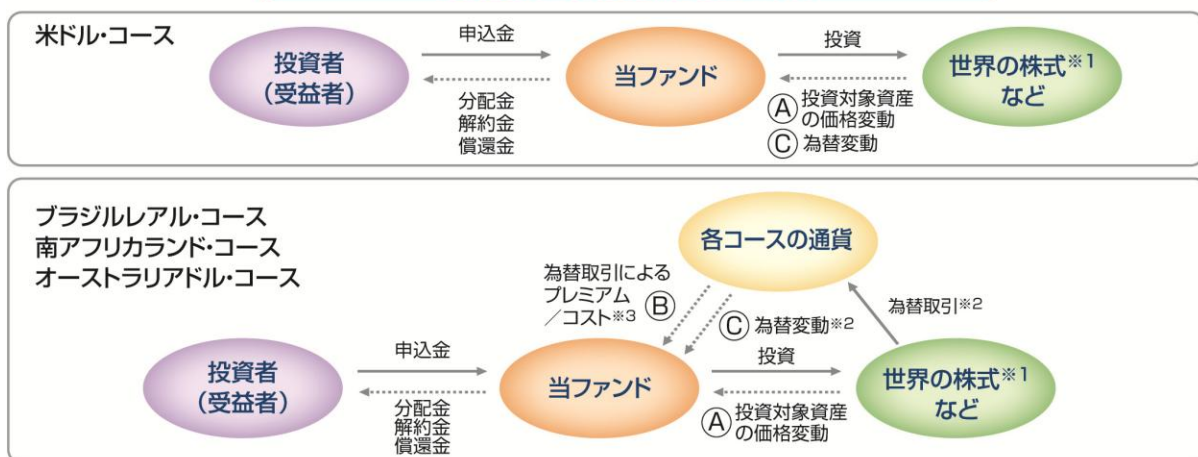
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行いません。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		(A) 株価の値上がり/値下がり	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*		為替差損の発生 原資産通貨に対して円高
収益の源泉		(A) 株価の値上がり/値下がり	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利がプラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利がマイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して円高

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
 2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
 3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。(次ページへ続きます)

■当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項②

【為替変動リスク】

(前ページより続きます)

◆ブラジルリアル・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆南アフリカランド・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行なうため、南アフリカランドの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が南アフリカランドに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によっては南アフリカランドと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、南アフリカランドの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと南アフリカランドの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

◆オーストラリアドル・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、オーストラリアドル買いの為替取引を行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとオーストラリアドルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

◆米ドル・コース

・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が米ドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

(次ページへ続きます)

お申込みに際しての留意事項③

(前ページより続きます)

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]http://www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

- 商品分類 追加型投信／内外／株式
- ご購入単位 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)
【米ドル・コース】
2024年6月17日(2013年9月18日設定)
- 決算日 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】
毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に
行なうことをめざします。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定した
ものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。
また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることに
ご留意ください。
【米ドル・コース】
毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる
場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 課税関係 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
※配当控除の適用はありません。
※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

《ご参考》

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.78%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、

購入時手数料=購入金額(100万円)×3.78%(税込)=37,800円となり、

購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万7,800円をお支払いいただくこととなります。

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 純資産総額に対して年率1.79%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他費用

【ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース】

目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【米ドル・コース】

目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。